

松平家史料展示室 企画展

藤島神社のお引っ越し

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 令和2年1月22日(水)～3月16日(月)
- 休館日 2月3日(火)、25日(火)、26日(水)

明治時代は、産業の急速な発展による「近代化」の時代として語られますが、一方で地震や水害などの自然災害が多発した時代でもありました。福井も例外ではなく、近代化によって江戸時代以前の景観は急速に変化していくこととなります。そのような変化を物語る存在が、明治9年(1876)に創建された藤島神社です。新田義貞の戦没地とされる燈明寺なわて (現 福井市新田塚町) に建碑された「新田塚」を由来とする藤島神社は、明治3年に同地へ祠が建てられた後、吉田郡牧野島村(明治14年、現 福井市文京4丁目)、そして足羽山(明治34年、現 福井市毛矢3丁目)へと遷座しています。藤島神社は、南朝の「忠臣」である新田義貞【図1】を祀る神社として全国的な知名度を誇っており、地域経済の動向にも影響を与える存在として、その遷座先には大きな関心が寄せられていました。本展では、明治福井の景観の移り変わりを、藤島神社の遷座という切り口から紹介します。



【図1】小川破笠写
新田義貞肖像画 (藤島神社蔵)

第1章 「新田塚」の誕生

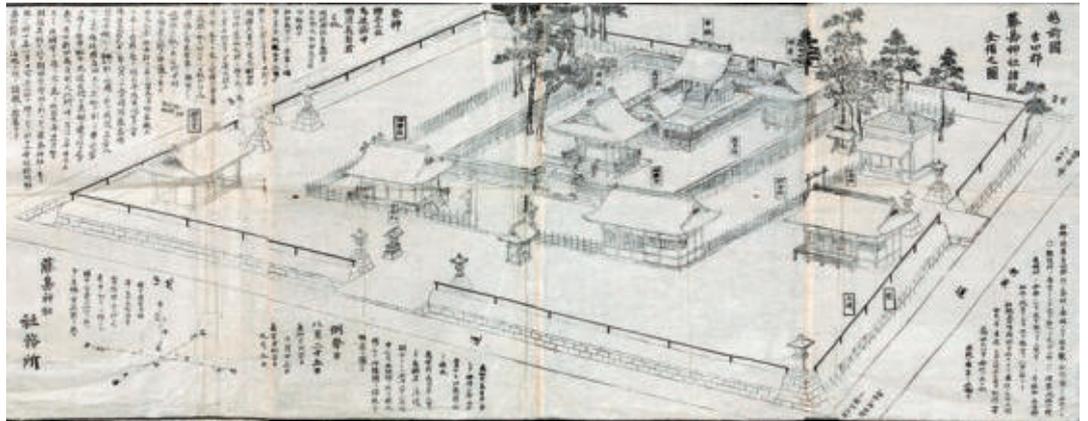
新田義貞顕彰の歴史は、江戸時代前期にまでさかのぼります。明暦年間(1655～58)、義貞が戦没した場所の近くから元応元年(1319)8月の銘がある鉄製の銀象嵌ぎやうがんかぶとが掘り出されたため、当時の福井藩主松平光通みつみちは万治3年(1660)年に「暦応元年閏七月二日 新田義貞戦死此所」と刻銘した石碑を吉田郡福万村内に建てました。その後しばらく義貞顕彰の記事は途絶えますが、元文2年(1737)に新田義貞の四百年忌が幕府や福井藩からの後援を得て義貞墓所の坂井郡長崎村称念寺で開かれています。また、義貞戦没地に関する故事は越前国の地誌類でもたびたび取り上げられるようになり、文化12年(1815)成立の「越前国名蹟考」では光通建碑の石碑が絵入りで紹介されるなど、越前国の名所「新田塚」【図2】として定着していきました。幕末期には16代福井藩主松平春嶽入国の際に石垣や木戸が設けられ、福井藩士橋本左内や歌人橋たかはなの曙あけみが新田塚を訪れて漢詩や和歌を詠むなど、尊皇論の高まりを背景とした関心の高まりがありました。



【図2】江戸時代の新田塚 (『越前国名蹟考』巻七吉田郡、当館蔵)

第2章 藤島神社の創建と遷座

明治維新により天皇を中心とする新たな政治体制が誕生すると、朝廷に尽くした「忠臣」の顕彰は国家的な事業として重視されました。明治3年（1870）12月7日、福井藩知事松平茂昭が「新田塚」の地に祠を建て、同9年には石川県（明治9年から14年まで、現在の福井県嶺北部にあたる地域は石川県に編入されていました）の後押しを受けて別格官幣社に列せられ、「藤島神社」の社号が定められています。この第一次藤島神社は約762坪の社地と約43坪の仮殿を有していましたが、水害により新田塚の南方に位置する吉田郡牧野島村への遷座が明治13年頃から進められました。第二次藤島神社の造営に当たって新しい道や堀が築かれ、約3000坪に及ぶ広大な社地が誕生しました。その様子は、藤島神社が発行した「藤島神社諸殿全備之図」【図3】や、『福井県商工便覧』などの刊行物によって知ることができます。遷座後は皇族や華族などから数々の奉納を受け、明治20年には新田義貞没後五百五十年の大祭が催されました。



【図3】藤島神社諸殿全備之図（藤島神社蔵）

第3章 足羽山へのお引っ越し

第二次藤島神社が鎮座した牧野島は新田塚と同じく低地にあったことから、再び水害に悩まされることとなります。福井市域では、明治14年（1881）から29年までの15年間で6回もの水害が発生しており、特に明治28年の水害では藤島神社で4尺（約120cm）余りの浸水に見舞われています。こうした相次ぐ水害の難から逃れるため、足羽山への遷座が計画されました。愛宕山とも称された足羽山は古くからの信仰の地、憩いの地であり、その風趣や眺望の良さが重視されたためでした。遷座には全国各地から寄付金が集められ、



【図4】藤島神社之景（越葵文庫、当館保管）

明治34年に新たな社殿が足羽山に完成しました【図4】。その一方で、牧野島からの遷座には反対の意見もありました。明治29年の北陸線開通により、福井市の賑わいは市街地の西部から東部へと変化しつつあり、藤島神社の遷座は福井市街西北部の衰退に拍車をかけると危惧されていたからでした。

【関連イベント】

ギャラリートーク

令和2年1月25日（土）、2月15日（土）、3月14日（土）
いずれも14:00から40分程度

学芸員見どころ講座「明治福井の都市発展と藤島神社」

令和2年3月15日（日） 14:00より当館講堂にて開催

次回の展示

松平家史料展示室 企画展「武家のよそおい」

令和2年3月20日（金）
～5月17日（日）

松平家史料展示室 展示解説シート No.128
令和2年1月22日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 山田 裕輝

印刷 宮本印刷